

領域：看護部

医療ニーズ：抑制帯を固定する薄型・小型マグネットピン



医療現場ニーズ提案部門
医学部附属病院 看護部

「患者の痛みを軽減したい」

■看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>

■ニーズの背景

- ・転倒の危険性のある患者さんには抑制帯を使用することで体の動きを制限することがある。抑制帯を固定するときパテントピンとパテントボタンを使用し、これが厚く硬い材質でできているため、患者さんの体にあたり苦痛を感じさせることがある。
- ・患者さんの苦痛軽減のために、改良した抑制帯の固定具が必要である。

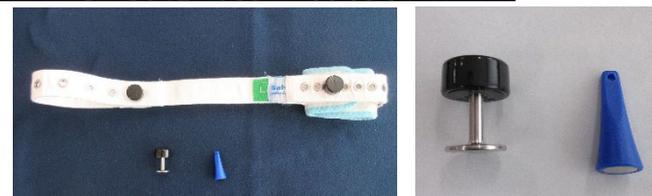
■現在の対応方法

- ・抑制帯を使用をできるだけ控える
- ・固定具に体ができるだけ当たらないように工夫する。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・今後、高齢化社会の進展がますます進むと考えられる。認知症患者や高齢者がターゲットの商品であるため、より苦痛を軽減した抑制帯は今後拡大する市場と思われる。

【イメージ・参考例】現状の抑制帯とボタン



機能アイデア例

- ・体にあたっても痛くない機能（材質、形状の工夫）
- ・ボタンやピンを使わない抑制 機能
- ・代替機能(抑制にこだわらない)

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話：077-548-2847

メール：hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp